

公益財団法人 前川財団セミナー

新型コロナ・災害頻発の時代を みんなで生き抜く子育て

子育ては、人が人と、世代を超えて触れ合うことで成り立ってきました。ところがコロナ禍は人の直接的なふれあいをむつかしくしています。急速なデジタル化の波も人のつながりを大きく変えてきました。加えて、災害の頻発も不安を高めています。何が起こるか分からない、先の見えにくいこの激動の時代を生き抜くために必要な親子や人どうしの関わりを、どのように考えればよいのでしょうか。2人の男の子の子育てに奮闘されたお母さんの体験などを対談で聞きだしながら、皆さんと語り合う場を企画しました。悩みながら、子どもと共に親もおとなも育っていく、そんな子育てのあり方を、未来を創る大きな展望を見据えて、考えていきたいと思えます。

2022 / 1月29日(土) 13:30~15:30

Zoomウェビナー

参加費
無料



基調講演

弘田 陽介氏 福山市立大学教育学部教授

今日の教育・育児の変化の中で「今を生き抜く力」とは



話題提供

棚澤 明子氏 インタビュアー／ライター

「自己決定できる人」に育ててほしくて
～母17年目の試行錯誤～



ディスカッション

コーディネーター

辻本 雅史氏

中部大学フェロー、京都大学名誉教授



〈お申込方法〉

参加申込はWebにて受付いたします。下記のURLまたはQRコードよりお申込ください。
お申込完了後、Zoom URLを送信します。 ※申込締切／2022年1月25日まで
https://www.mayekawafoundation.org/seminar/seminar_20220129.html



主催／公益財団法人 前川財団



弘田 陽介氏 福山市立大学教育学部教授

京都大学大学院教育学研究科博士課程終了。博士(教育学)。専門は教育哲学、身体論。徳島大学、大阪城南女子短期大学・大阪総合保育大学を経て現職。主な著書に『近代の擬態／擬態の近代—カントというテキスト・身体・人間』(東京大学出版会)、『電車が好きな子はかしくなる—鉄道で育児・教育のすすめ』(交通新聞社新書)、棚澤明子氏との共著『いま、子育てどうする?感染症・災害・AI時代を親子で生き抜くヒント集35』(彩流社)ほか。3人の男の子(高1、中1、小4)の父。



棚澤 明子氏 インタビュアー／ライター

東京女子大学文理学部日本文学科卒業。幼かった長男とともに鉄道の魅力に目覚め、『子鉄&ママ鉄の電車を見よう!電車に乗ろう!』(プレジデント社)などを出版。読売新聞(都内版)にて6年にわたって「ママ鉄の電車ウオッチ」を連載する。並行してライフスタイル全般、社会問題、ビジネスなどのテーマを中心に雑誌やWEBにて取材記事を執筆。著書は原発事故被害にあった母親たちへのインタビュー集『福島のお母さん、聞かせて、その小さな声を』(彩流社)など。2人の男の子(高3、中3)の母。



辻本 雅史氏 中部大学フェロー、京都大学名誉教授

京都大学大学院教育学研究科博士課程退学。博士(文学)。専門は日本教育史、思想史。京都大学教授、台湾大学教授などを経て現職。主な著書に『「学び」の復権・模倣と習熟』(岩波現代文庫)、『江戸の学びと思想家たち』(岩波書店)、『思想と教育のメディア史—近世日本の知の伝達』(ベリかん社)、『教育を「江戸」から考える—学び・身体・メディア』(日本放送出版協会)、『近世教育思想史の研究:日本における「公教育」思想の源流』(思文閣出版)ほか多数。



- 開催日時 — 2022年1月29日(土) 13:30~15:30

※お申込いただいた方には、後日、当日のセミナー動画のご案内をいたします。

- 開催方法 — オンライン開催(Zoom)

- 申込方法 — WebまたはQRコードにて受付

https://www.mayekawafoundation.org/seminar/seminar_20220129.html

- 申込期限 — 2022年1月25日まで

※ご入力いただきました個人情報はセミナー以外の目的に利用することは一切ありません。

- お問い合わせ — 公益財団法人 前川財団

headoffice@mayekawafoundation.org

